

## News Release



令和6年3月1日

# 新潟国際情報大学開学30周年記念 国際学部シンポジウム開催について

新潟国際情報大学では、“つなぐ つなげる つながる”をキャッチコピーに、人・地域・世界とのつながりを重視しながら、新潟の地で最先端の教育が受けられる大学として多くの若者を育成してきました。

この度、開学30周年記念事業の一環として、国際学部シンポジウムを開催いたします。今回のイベントは、一般市民、本学関係者を対象とし、多くの方が参加できるイベントになっております。

ぜひ、取材をご検討いただきたく存じます。ご質問やご要望等ございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。何卒よろしくお願い申し上げます。

### 記

日時：2024年3月23日（土）10:30～17:00

会場：新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス講堂  
（新潟市中央区上大川前通7番町1169番地）

テーマ：新潟でつなぐ日本と世界

定員：120名

参加費：無料



詳細は、右記のQRコードからご確認ください。

以上

#### 【問合せ先】

新潟国際情報大学開学30周年記念 国際学部シンポジウム係  
E-Mail: shin@nuis.ac.jp

新潟国際情報大学開学30周年記念

国際学部シンポジウム

# 新潟でつなぐ 日本と世界

2024.  
3/23 土  
10:30~17:00

**会場** 新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス講堂  
〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7番町1169番地 TEL: 025-227-7111

**定員** 120名 **先着順** **参加費無料**

**申込方法**

インターネット申込  
専用サイト



**【第一部】 10:30 — 12:30**

基調講演

アルジェリア西部オランの歴史：  
都市における被植民者の  
植民地体験



ダホー・ジェルバル 氏(フランス語/通訳あり)  
アルジェ・ブザレア大学教授

1945年アルジェリア・オラン生まれ。アルジェ大学元教授、現在アルジェ・ブザレア大学教授。1993年より雑誌NAQD編集長。専門分野は植民地・ポストコロニアル社会、経済史、国際関係。

日本の200年  
～北陸からアジア大陸へ



アンドルー・ゴードン 氏(日本語)  
ハーバード大学リー&ジュリエット基金歴史学部教授

専門は日本近代史。米国、日本、英国、フランス、ドイツにおいて、その多くの編著書および訳書が刊行され、学術雑誌に論文が掲載されている。現在は、炭鉱および銅鉱山を中心に日本の産業遺産についての著書を執筆している。

**【第二部】 14:00 — 16:50**

1. 基調講演の内容を深める
2. 「現代史をいかに教えるか」という観点から  
(プレゼンテーション)



プレゼンター  
すずき とし ひろ  
**鈴木俊弘**  
新潟国際情報大学  
国際学部准教授

2021年3月に一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程単位取得満期退学。専攻は、アメリカ移民史研究。



プレゼンター  
なか むら たかし  
**中村 貴**  
新潟国際情報大学  
国際学部准教授

2015年6月に華東師範大学中国語文学系博士課程修了(文学博士)。専攻は中国古代史、現代民俗学。

新型コロナウイルス感染拡大状況等により、急遽変更または中止になる場合があります。変更または中止になる場合は、本学ホームページにて随時公開しますのでご確認ください。



## 新潟国際情報大学



■お問い合わせ/新潟国際情報大学開学30周年記念 国際学部シンポジウム係 メール: shin@nuis.ac.jp

▲シンポジウムの詳細はこちらから